

平成30年3月期 決算説明資料

平成30年4月25日

平成30年3月期 決算概要

平成30年3月期 決算の総括

当社を取り巻く事業環境は、設備投資は全体として緩やかに増加しているものの、熱源設備（吸収冷温水機・ボイラ）の需要は横這いで推移いたしました。

受注高は、前期比 5 億85百万円減少の172億81百万円、売上高は、前期比 9 億 2 百万円減少の169億38百万円となりました。

営業利益は、ボイラメンテナンス工事が好調に推移したものの、前事業年度に比べ空調機器の付帯工事付大型案件の売上減少等により 6 億30百万円と前事業年度から 1 億37百万円の減少となり、経常利益は、6 億27百万円と前事業年度から 1 億45百万円の減少となりました。また、当期純利益は、4 億27百万円となり、関係会社出資金売却に係る特別利益 3 億32百万円を計上した前事業年度から 4 億88百万円の減少となりました。

平成30年3月期 損益計算書

単位:百万円

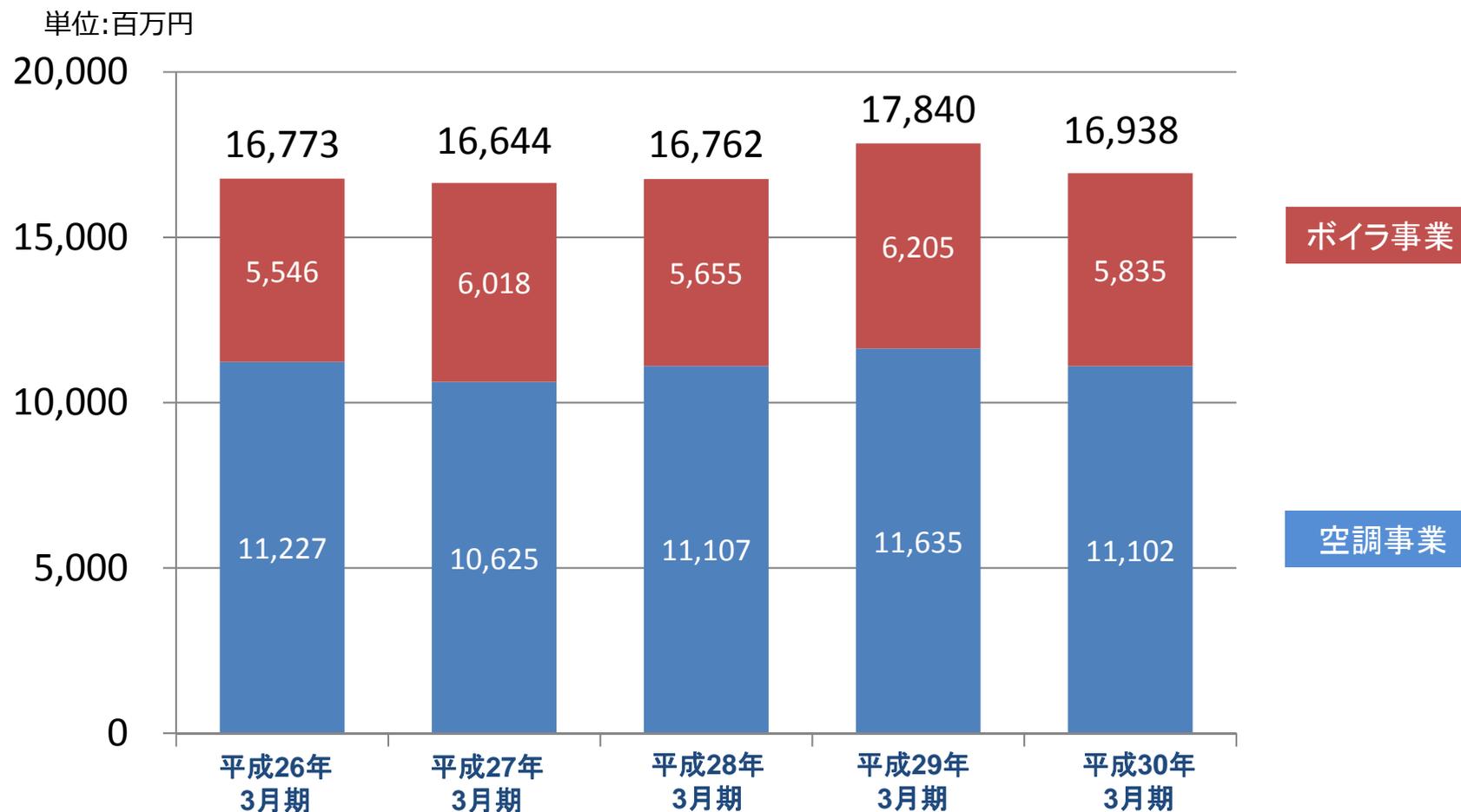
	前事業年度	当事業年度	前年比
売上高	17,840	16,938	95%
売上総利益	4,730	4,547	96%
販売費及び一般管理費	3,962	3,917	99%
営業利益	767	630	82%
営業外収益	23	11	50%
営業外費用	18	14	78%
経常利益	773	627	81%
税引前当期純利益	1,105	627	57%
法人税等	189	200	106%
当期純利益	915	427	47%

平成30年3月期 貸借対照表

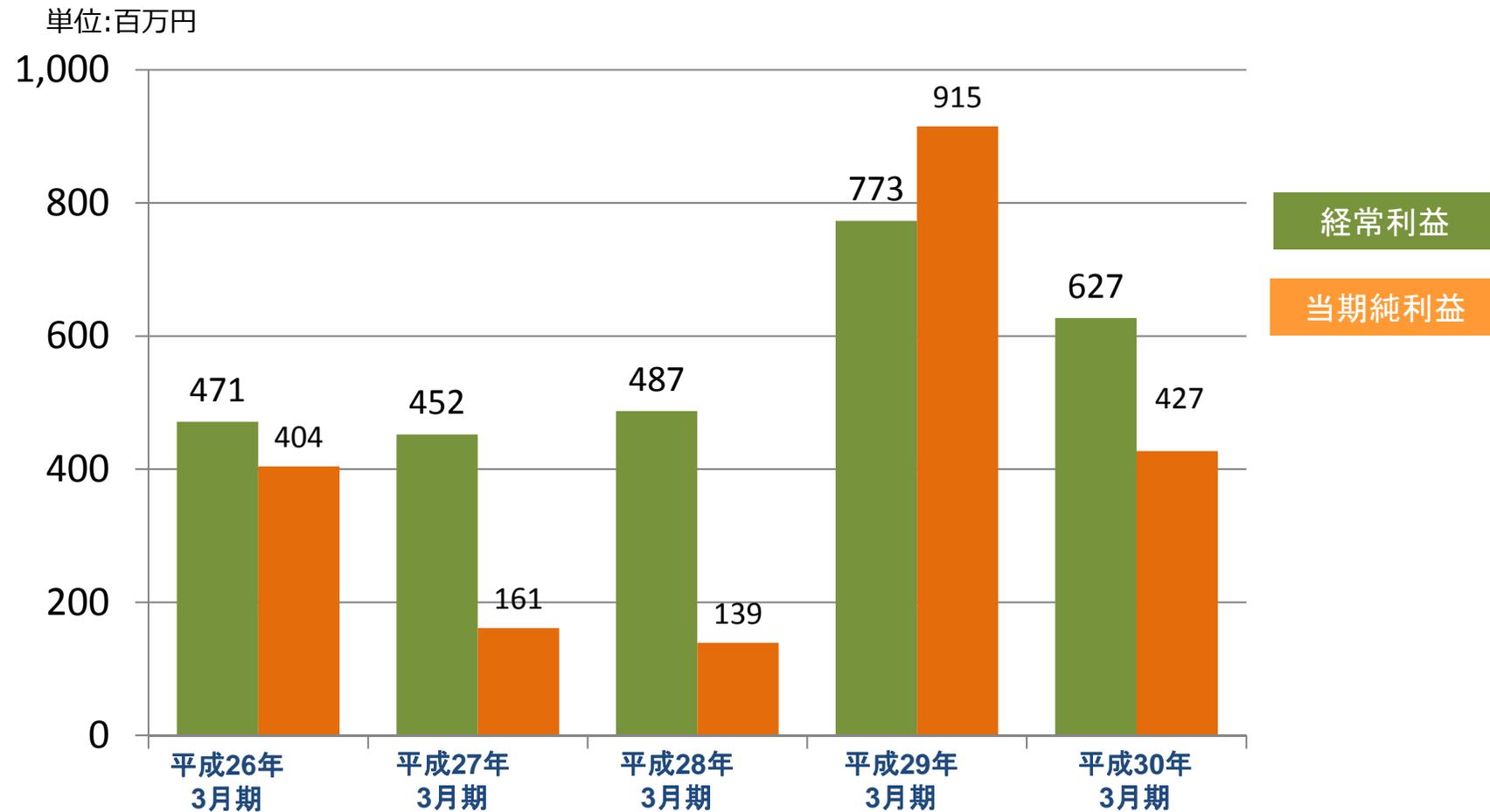
単位:百万円

	前事業年度	当事業年度		前事業年度	当事業年度
流動資産	10,594	11,037	流動負債	6,209	6,518
現金及び預金	5	5	仕入債務	4,100	4,136
売上債権	6,346	6,733	その他流動負債	2,108	2,381
棚卸資産	1,811	1,965	固定負債	2,707	2,985
繰延税金資産	283	275	退職給付引当金	2,678	2,959
短期貸付金	2,114	1,982	その他固定負債	28	25
その他流動資産	32	74	負債合計	8,916	9,503
固定資産	3,465	3,898	資本金	1,460	1,460
有形固定資産	2,148	2,494	資本剰余金	1,228	1,228
無形固定資産	251	248	利益剰余金	2,450	2,726
繰延税金資産	847	919	自己株式	△23	△25
投資その他の資産	218	236	評価・換算差額等	27	42
資産合計	14,059	14,936	純資産合計	5,143	5,433
			負債・純資産合計	14,059	14,936

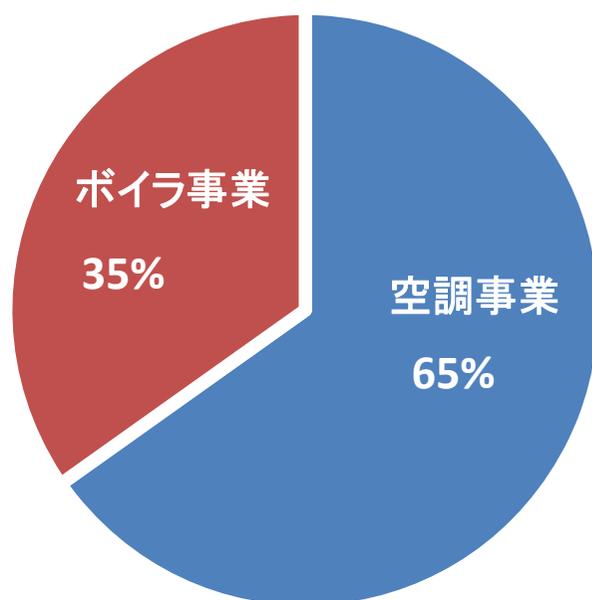
売上高の推移



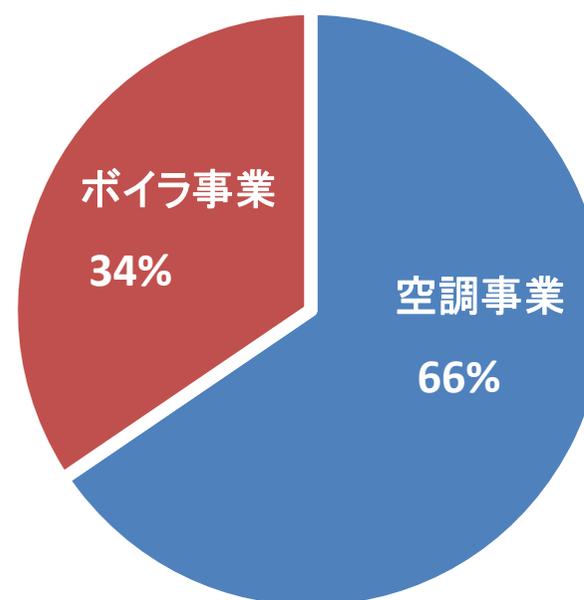
利益の推移



売上高構成比の比較



平成29年3月期



平成30年3月期

事業区分別分析

空調事業

<受注高>

前事業年度に比べ機器本体の受注が増加したことにより、前事業年度を上回りました。

<売上高>

前事業年度に比べ空調機器の付帯工事付大型案件が減少したことにより、前事業年度を下回りました。

ボイラ事業

<受注高>

前事業年度に比べ保守点検・改修改造工事（以下、メンテナンス工事）が増加したものの、前事業年度に大口のボイラ機器の受注があったこと等により、前事業年度を下回りました。

<売上高>

メンテナンス工事が増加したものの、前事業年度に大口のボイラ機器の売上があったこと等により、前事業年度を下回りました。

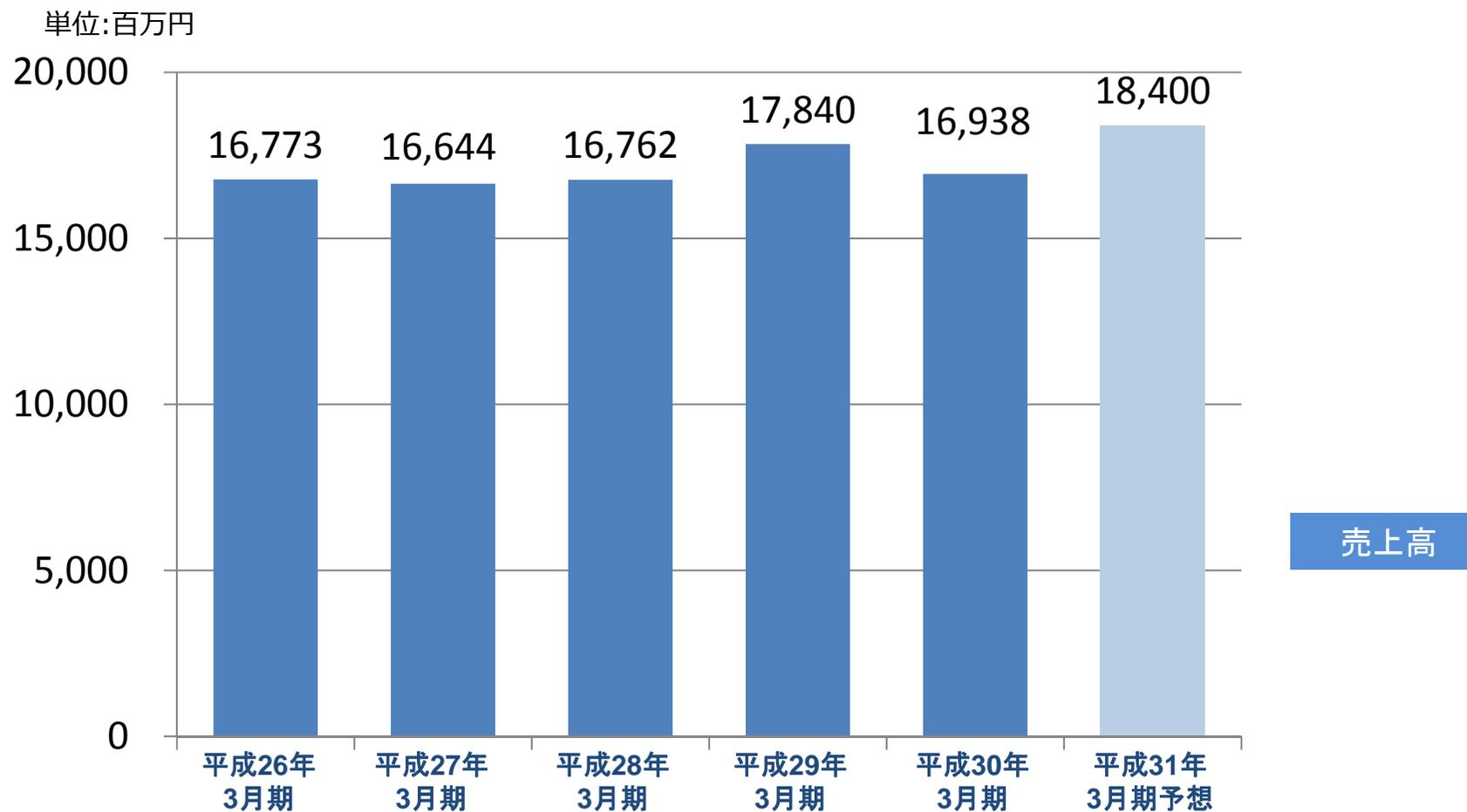
平成31年3月期 業績予想

平成30年3月期の業績予想

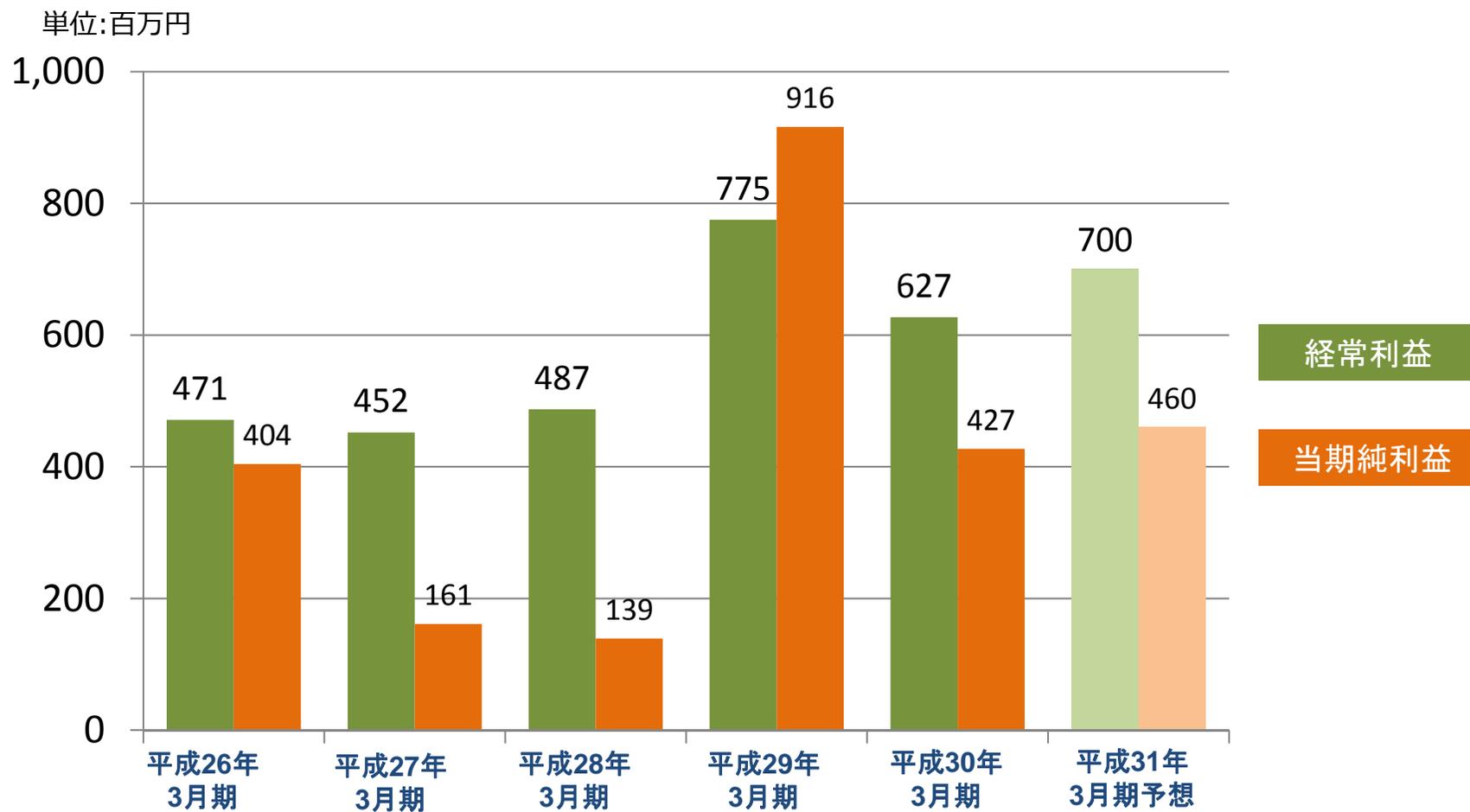
単位:百万円

	平成30年3月期	今期予想	前期比
売上高	16,938	18,400	109%
営業利益	630	702	111%
経常利益	627	700	111%
当期純利益	427	460	108%

売上の推移（予想）



利益の推移（予想）



事業区分別計画

空調事業

吸収冷温水機の特徴省電力性や、熱源に廃熱や再生可能エネルギーを有効活用できる特性を活かし、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に引き続き取り組んでまいります。

また、お客様の様々な稼働条件における省エネ効果の実現（定格効率及び期間効率）や、空調システム全体での省エネ制御（システム効率）への要求等に対し、最適な省エネ技術でお応えしてまいります。



事業区分別計画

ボイラ事業

貫流ボイラを中核製品と位置づけ、大型貫流ボイラ「イフリート」に続き、小型貫流ボイラ「WILLHEAT（ウィルヒート）」を業界最長となる15年の長期保証付きで販売し、お客様の高効率・省エネルギーへの要望に幅広くお応えしております。当社のボイラの「信頼性」「低ライフサイクルコスト」を提案することでこの市場でのシェアアップを図ってまいります。

また、「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン、ガスエンジンを中心に、コージェネ用排熱ボイラ「RG」、「RF」を採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。さらに、川崎重工グループが推進する水素関連事業では、当社がこれまで培ってきた燃焼技術を活かした水素専焼貫流ボイラの開発など、来たるべき水素社会に向け積極的に取り組んでまいります。



本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの^{いま}現在と未来へ



企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。